脱炭素アドバイザーベーシック取得時の例

様式第１０（第１５条関係）

提出日を記入してください。

令和　　年　　月　　日

二 酸 化 炭 素 排 出 削 減 計 画 書

・事業所が申請者となる場合は、「氏名又は名称」欄に事業者名を、「代表者職・氏名」欄に代表者の役職、氏名を記載
・個人が申請者となる場合は、「氏名又は名称」欄のみに氏名を記載（代表者職・氏名欄は空欄）

〒　８９０－００００
所又は所在地　　鹿児島市××町○○番地△△
フリガナ　　○○カブシキカイシャ
名又は名称　　○○株式会社
フリガナ　　ダイヒョウトリシマリヤク　カゴシマ　イチロウ
表者職・氏名　　代表取締役　鹿児島　一郎
格取得者・氏名　　鹿児島　二郎
電話番号　　０９９―○○○―△△△△

担当者の直通電話を記入してください。

ゼロカーボン推進支援事業（人材育成）補助金要綱第１５条の規定により、二酸化炭素排出量の削減に向けた取組について、次のとおり３ヶ年計画を提出します。

取得した資格 ※該当する区分の□にレ印を付けてください	☑　ベーシック　　□　アドバンスト	
資格取得からの経過年数	取組の概要	取組の目標
１　　年　　目	・情報の収集、共有	・自社の産業を取り巻くカーボンニュートラルに向けた動きについて情報収集する。 ・収集した情報を社内で共有するため、研修会を実施する。
２　　年　　目	・方針の検討 ・上位資格の取得	・現状の経営方針や経営理念を踏まえ、脱炭素経営に向けて、自社で出来ることを検討し、方向を定める。 ・次年度のCO_2排出量算定に向けて、脱炭素アドバイザーアドバンストの取得を目指す。
３　　年　　目	・CO_2排出量の算定 ・削減ターゲットの特定	・自社のCO_2排出量を算定し、主な排出源を特定し、次年度以降の設備更新計画を定める。

※アドバンストを取得した場合、１年目には、様式１２「ゼロカーボン計画書」を必ず作成してください。

計画書の作成については、環境省作成の「脱炭素経営導入ハンドブック」（https://www.env.go.jp/content/000114653.pdf）などを参考にしてください。